

松野周治教授 略歴・研究業績一覧

1950年8月 和歌山市生まれ

学 歴

- 1969年3月 大阪府立三国丘高校卒業。
1969年4月 京都大学経済学部入学。
1974年3月 同卒業。
1974年4月 京都大学大学院経済学研究科入学。
1976年3月 同修士課程終了。経済学修士。
1976年4月 同博士課程進学。
1979年5月 同課程単位取得退学。

職 歴

- 1979年6月 鹿児島大学法文学部経済学科専任講師（1980年3月まで）
1980年4月 鹿児島大学法文学部経済学科助教授（1986年3月まで）
1986年4月 立命館大学経済学部助教授（1993年3月まで）
1988年4月 立命館大学経済学部学生主事（1989年3月まで）
1989年9月 同志社大学経済学部非常勤講師（東洋経済史担当，1991年3月まで）
1991年4月 遼寧社会科学院客員研究員（1991年9月まで）
1992年4月 立命館大学二部教学委員会副部長（学生担当，1993年10月より教学担当，1995年3月まで）
1993年4月 立命館大学経済学部教授（現在に至る）
1995年9月 サセックス大学ヨーロッパ研究所客員教授（1996年8月まで）
1997年4月 立命館大学経済学部主事（1998年3月まで）
1998年4月 立命館大学経済学部調査委員長（1999年3月まで）
1999年4月 立命館大学大学院経済学研究科主事（2001年3月まで）
2001年1月 立命館大学教職員組合・立命館学園教職員組合連合委員長（2001年12月まで）
2002年1月 スタンフォード大学人文社会学部客員教授（京都日本研究センター海外プログラム担当，5月まで）
2002年4月 環日本海アカデミックフォーラム（2006年4月～北東アジアアカデミックフォーラム）世話人（2011年3月まで）
2002年4月 中国現代史研究会世話人代表（2004年3月まで）
2004年4月 立命館大学BKC 教学部長（2006年3月まで）
2005年5月 遼寧社会科学院特選研究員（2008年5月まで）
2005年7月 立命館大学東北アジア地域研究センター長（2011年3月まで）
2005年10月 環日本海学会（2007年12月北東アジア学会）理事（現在に至る）

- 2006年4月 立命館大学教学部長（2008年3月まで）
 2006年4月 日本私立大学連盟教育研究委員会委員（2008年3月まで）
 2006年9月 吉林大学東北亜研究院客員教授（現在に至る）
 2007年4月 京都・まいづる立命館地域創造機構長（2008年3月まで）
 2007年5月 立命館孔子学院院長代理（2009年4月まで）
 2008年4月 立命館国際機構長（2009年3月まで）
 2008年4月 日本私立大学連盟国際連携委員会委員（2009年3月まで）
 2008年10月 北東アジア学会常任理事（現在に至る）
 2009年3月 中国対外経済貿易大学交換教授
 2009年4月 立命館大学国際地域研究所長（2011年3月まで）
 2010年9月 中国対外経済貿易大学国際経済研究院客員教授（現在に至る）
 2011年4月 立命館大学社会システム研究所長（2013年3月まで）
 2011年10月 北東アジア学会『北東アジア地域研究』編集委員長（2014年9月まで）
 2013年10月 タイ国立開発行政研究院開発経済学研究科客員教授（2013年12月まで）
 2014年4月 立命館大学BKC社系研究機構長（現在に至る）
 2014年4月 立命館大学社会システム研究所長（2015年3月まで）
 2014年10月 河上肇記念会世話人代表（現在に至る）
 2014年10月 北東アジア学会副会長（現在に至る）

研究業績

A. 著書（編著）

- 『昭和初期商工・産業政策資料集』全7巻，後藤靖・山本義彦・松野周治編，柏書房，1989年
 『日中国交回復30周年一日中の過去・現在・未来—』（立命館土曜講座シリーズ14），西村成雄・
 笈文生・夏剛・松野周治著，立命館大学人文科学研究所，2002年
 『東北アジア時代への提言—戦争の危機から平和構築へ—』徐勝・松野周治・夏剛編著，武者小
 路公秀監修，平凡社，2003年
 『東北アジアビジネス提携の展望』仲田正機・松野周治・徐継舜・李向平編著，文眞堂，2004年
 『東北アジア共同体への道—現状と課題—』松野周治・徐勝・夏剛編著，文眞堂，2006年
 『立命館展望・東アジア経済共同体構築に向けて』松野周治監修，徳田昭雄・高屋和子・井口知
 栄編，立命館大学社会システム研究所，2006年
 『中口経済論——国境地域からみる北東アジアの新展開——』大津定美・松野周治・堀江典生編
 著，ミネルヴァ書房，2010年
 『東アジアの地域経済発展と中小企業』松野周治・今田治・林松国編著，晃洋書房，2016年

B. 著書（共著・分担執筆）

- 『両大戦間期のアジアと日本』小野一郎・吉信肅編，大月書店，第6章「東北アジアの金融連
 関と対満州通貨金融政策」，1979年
 『南北問題の経済学』小野一郎編，同文館出版，第4章「西欧経済学への懐疑—G・ミュルダ

ール」1981年

- 『貿易論を学ぶ』吉信肅編，有斐閣，第2章「帝国主義と世界市場—世界経済の成立—」1982年
- 『多国籍銀行とドル体制 国際金融不安の構図』関下稔・奥田宏司編，有斐閣，第1章「両大戦間期の国際銀行業と金融不安」，1985年
- 『戦間期の日本帝国主義』小野一一郎編，世界思想社，第6章「半植民地—『満州』—」1985年
- 『現代世界経済をとらえる ニュー・インタナショナル・エコノミックス25』杉本昭七・関下稔・藤原貞雄・松村文武編，東洋経済新報社，第17章「誰のために何のために—援助と借款」1987年
- 『現代世界経済論の課題と日本』吉信肅編，同文館出版，第9章「日本貿易と経済摩擦—『原点』についての一考察：戦後日本資本主義の再建と貿易問題—」1989年
- 『対外経済関係と中国近代化』章開沅・朱英主編，華中師範大学出版社，「20世紀20年代的東北経済特徴及問題点：以考察対外経済関係を中心」（李潔訳）1990年
- 『日本帝国主義の経済政策』後藤靖編，柏書房，第3章「昭和初期関税政策の展開—関税審議会を中心にして—」1991年
- 『「満洲国」の研究』山本有造編，京都大学人文科学研究所，第9章「関税および関税制度から見た『満洲国』—関税改正の経過と論点—」1993年
- 『中国近代化の歴史と展望』（20世紀中国と日本・下巻），池田誠・安井三吉・上原一慶編，法律文化社，第9章「冷戦後世界秩序形成期の北東アジア」1996年
- 『立命館環日本海プロジェクト研究調査報告書』立命館国際地域研究所，「チェコ及びスロヴァキア調査報告」松野周治・鈴木一人，1977年
- 『日本貿易の史的展開』日本貿易史研究会編，三嶺書房，第5章「貿易収支不均衡と国際収支の展開—戦前期を中心に—」1997年
- 『東アジア経済と日本』西口清勝・西澤信善編，ミネルヴァ書房，補章3「東アジアにおける地域経済統合と日本の役割—東北アジアにおける歴史的展開をふまえて—」2000年
- 『社会経済学入門』角田修一編，大月書店，第11章「日本とアジアの経済社会」2003年
- 『東北亜自由貿易区：現実，趨勢，途径——2004年東北亜区域経済社会合作与發展国際學術研讨会論文選』李向平等主編，遼寧人民出版社，「日，中，朝，韓四国合作在東北亜区域合作中的意義及可能性」2005年
- 『第三屆東北亜区域合作發展国際論壇文集（下）』黒龍江省社会科学院東北亜和国際問題研究中心編，日本僑報社，「東北アジア地域協力の新段階構築のために—グローバル金融危機後の新国際経済秩序と地域経済協力の意義—」2010年
- 『地域共同体とグローバリゼーション』田中祐二・中本悟編，晃洋書房，第2章「東アジア共同体と日本」2010年
- Regionalism, Economic Integration and Security in Asia, A Political Economy Approach*
Jehoon Park, T. J. Pempel, Huangchong Kim ed., Edward Elger, Chapter 6 “Inter-regional trade, intra-regional trade, and globalization based on regionalization” 2011年
- 『北東アジアに激変の兆し～中・朝・国境を行く～』大阪能率協会・アジア中国事業支援室編，桜美林大学北東アジア総合研究所，「中国東北三省の経済情勢と図們江開発の最新情報」

2011年

『転型・創新與科学發展《大連振興的軌跡》(日文版)出版紀念研討会文集』李才・慈道裕治編, 遼寧人民出版社, 「21世紀的東北亜区域合作與大連的作用」(楊秋麗訳)「21世紀の東北アジア地域協力と大連の役割」2012年

『メコン地域開発と ASEAN 共同体一域内格差の是正を目指して一』西口清勝・西澤信善編, 晃洋書房, 第18章「東アジアにおける2つの国際河川開発—メコン川と図們江の比較研究」, 2014年

C. 論文

「大上末廣の略歴および著作目録について」小野一一郎・松野周治, 『経済論叢』119巻3号, 1977年3月

「帝国主義確立期日本の対満洲通貨金融政策」『経済論叢』120巻1・2号, 1977年7・8月

「1910年代東北アジアの経済関係と日本の対満洲通貨金融政策」『経済論叢』121巻1・2号, 1978年1・2月

「第二次世界大戦前中国東北部における日本の金融諸活動について」『経済学論集』(鹿児島大学)21号(原口虎雄教授退官記念号), 1983年3月

「兩大戦間期の国際銀行業」『経済学論集』(鹿児島大学)24号, 1984年12月

「ビルマ経済覚書: 植民地経済発展との関わりで」『大阪経大論集』162/163号, 1985年3月

「日本植民地金融史研究についての覚書: 波形昭一『日本植民地金融政策史の研究』の検討をもとに」『新しい歴史学のために』186号, 1987年3月

「1920年代における日本の対『満州』関税政策」『経済論叢』142巻4号, 1988年10月

「京都における農村経済更生運動の一事例—旧竹野郡木津村—」『立命館大学人文科学研究所紀要』第52号(戦時下の京都地域), 1991年6月

「構造転換に悩む瀋陽」『経済科学通信』84号, 1997年6月

「イギリスの大学における生涯教育」松野周治・林堅太郎, 『立命館教育科学研究』12号, 1998年6月

「瀋陽経済の発展過程と諸特徴」『立命館地域研究』7号(特集: 瀋陽市工業立地条件に関する研究), 1998年10月

「日本戦前国際収支的不均衡和経済発展」(劉昌黎摘訳)『東北財経大学学報』1999年第4期, 1999年7月

「環日本海地域の経済交流の現状と課題に関する調査研究: 舞鶴港を中心にした京都府北部地域の役割に焦点を当てて」松野周治・西口清勝・林堅太郎・大森功一・中戸祐夫・池尾靖志, 『環日本海』環日本海アカデミックフォーラム, 8号, 2000年3月

「日本中小企業在中国発展的現状和課題」(張仁信訳)『遼寧経済』(中国暨遼寧・日本中小企業和私営経済21世紀合作与發展研討会專輯), 2000年12月

“Towards a New Economic Integration in Northeast Asia: A Historical Approach to Japan-China Economic Relations”『立命館国際地域研究』18号, 2001年3月

「西部大開発における日本の役割—北東アジア経済建設共同体の観点から—」『中日中国西部大開

- 発研究会論文集』西北農林科技大学編，2001年9月
- “Development of Networks for Regional Cooperation in Northeast Asia: Cities, Ports, Institutions and Universities”『立命館国際地域研究』19号，2002年2月
- “Can We Develop New Economic Cooperation in NEA? Recent Changes around North Korea and Meanings of Across Yalu River Development” *Ritsumeikan International Affairs*, vol. 1, 2003
- 「北東アジア地域協力の現状と課題——中国東北延辺地区を中心に——」松野周治・汪正仁・裴光雄，『立命館国際地域研究』22号，2004年3月
- 「ワークショップ『北東アジア地域経済協力の進展と前提条件——中国東北を中心に——』の2つの論点について」『立命館国際地域研究』22号，2004年3月
- 「『日米合資満洲製鋼所』について」『立命館経済学』53巻1号，2004年4月
- 「開発の息吹きに沸く延辺と大連—2004年夏 中国東北三省内における調和的發展が課題（特集本格稼動する中国東北振興戦略）」『東アジアレビュー』15巻3号，2005年4月
- 「中国東北振興戦略について」『経済科学通信』108号，2005年8月
- 「中国の新發展戦略と東北アジア地域経済圏の歴史段階」『立命館経済学』55巻・国際経済学科設立記念特別号，2006年9月
- 「東北アジア地域協力の歴史的意義と現段階」『東北亜地区和平与發展第12次国際学術会議論文集』吉林大学東北亜研究院，2006年9月
- “Reconstruction of World Economy and the Meaning of Regional Cooperation in Northeast Asia” *Proceedings for 2009 NEAR International Economic Forum*, April, 2009
- “Inter-regional Trade, Intra-regional Trade, and Globalization based on Regionalization” *Journal of North East Asia Development*, Vol. 11, Dec., 2009,
- 「世界経済再構築と東アジア地域協力の意義」『立命館経済学』58巻5・6号，2010年3月
- 「『東アジア共同体』構築における東北アジア地域協力の意義と役割」『吉林大学・北京大学東北亜論壇（2010）東北亜区域合作與長吉図開発開放国際学術研討会論文集』2010年7月
- 「図們江開発の歴史的意義」『図們江学術論壇2010—多元共存和辺縁的選択—論文集』延辺大学“図們江学術論壇”組織委員会，2010年11月
- “Unstable World Economy and International Cross Border Economic Cooperation in Northeast Asia”, *The Tumen River Academic Forum 2011, Collection of Papers*, The Tumen River Academic Forum Organizing Committee, Yanbian University, Yanji, August, 2011,
- “International cross border economic regions in East Asia, Greater Tumen Area (GTR) and Greater Mekong Sub-region (GMS)”, *Ritsumeikan International Affairs*, vol. 10, 2011
- 「地域内国際分業と地域間国際分業」『農林金融』64巻4号，2011年4月
- 「国際分工の両種類型：区域内国際分工與区域間国際分工」（曹瑞林訳），『第六次全国馬克思主義経済学發展創新国際研討会論文集』2012年8月
- “Standing at the crossroads: rethinking of economic cooperation in NEA after the Global Financial Crisis”『図們江論壇2013論文集』延辺大学図們江論壇組委會，2013年10月。
- 「全球金融危机后国际收支结构性变化下的东北亚经济合作」『社会科学戦線』223期，2014年1月

- 「東アジア経済の歴史的発展と日中韓連携の意義」『立命館国際地域研究』40号, 2014年10月
- 「東南アジアから見た東北アジア—東アジア国際河川広域開発協力比較, GMS（大メコン圏）とGTR（大図們江地域）—」『北東アジア研究交流ネットワーク ニュースレター』17号, 2014年11月
- 「日本と『満州』—『東北アジア経済圏』をめぐって」『経済』239号, 2015年8月
- 「近現代日本経済の発展と21世紀の日中関係」『立命館経済学』64巻4号, 2016年2月

D. 調査報告

- 「ロシア極東都市経済・社会開発調査報告」林堅太郎・松野周治・ダイカーデヴィッド・山田一隆, 『立命館国際地域研究』21号, 2003年3月
- 「丹東経済調査報告：中国遼寧省丹東市における日中韓朝ネットワークを中心に」松野周治・裴光雄・坊野成寛・山田一隆, 『立命館国際地域研究』21号, 2003年3月
- 「ワークショップ『東北アジア平和と繁栄の諸条件——地域協力の現状と課題——』と仁川調査」松野周治・徐勝・裴光雄・林堅太郎・中川涼司, 『立命館国際地域研究』22号, 2004年3月
- 「2004年延辺調査並びにワークショップ報告」松野周治・中川涼司・裴光雄, 『立命館国際地域研究』23号, 2005年3月
- 「大連における東北アジア国際物流シンポジウムと経済調査について」松野周治・曹瑞林・小島宏, 『立命館国際地域研究』23号, 2005年3月
- 「中国の新発展戦略と東北アジア地域協力の可能性：天津濱海新区調査報告」松野周治・楊軍・楊秋麗・守政毅・中川涼司・曹瑞林, 『立命館国際地域研究』27号, 2008年3月
- 「中国吉林省朝鮮族自治州調査—農業・農村, 中朝関係, 成長の共有—」松野周治・高屋和子, 『立命館国際地域研究』34号, 2011年10月
- 「中国湖南省株洲市経済企業調査（2012年12月）報告」松野周治・兵藤友博・今田治・守政毅・林松国・姜尚民, 『社会システム研究』26号, 2013年3月
- 「調査報告：東北気仙地区の産直活動と地域の復興・再生」松野周治・河音琢郎, 『立命館経済学』62巻2号, 2013年7月
- 「韓国釜山地域中小企業高度化の現状と政策—2013年8月実態調査報告—」松野周治・長島修・兵藤友博・今田治・林松国・高屋和子・姜尚民, 『社会システム研究』28号, 2014年3月
- 「中国大連・營口経済企業調査報告—遼寧沿海経済帯産業高度化の現状と東北アジア中小企業協力の可能性—」松野周治・今田治・曹瑞林・林松国・高屋和子・楊秋麗, 『社会システム研究』30号, 2015年3月

E. 書評

- 「野沢豊編『中国の幣制改革と国際関係』」『社会経済史学』49巻5号, 1983年12月
- 「ポール・ケネディ著, 鈴木主税訳『大国の興亡—1500年から2000年までの経済の変遷と軍事闘争』」『経済』300号, 1989年4月
- 「松本俊郎著『侵略と開発—日本資本主義と中国植民地化—』」『日本史研究』342号, 1991年2月
- 「島崎久弥著『円の侵略史—円為替本位制度の形成過程—』」『アジア経済』32巻2号, 1991年2月

- 「浅田喬二著『日本植民地研究史論』』『日本史研究』369号, 1993年5月
- 「風間秀人著『満州民族資本の研究—日本帝国主義と土着流通資本—』』『アジア経済』35巻6号, 1994年6月
- 「古田和子著『上海ネットワークと近代東アジア』』『歴史と経済』46巻1号, 2003年10月
- 「福井県立大学編『北東アジアのエネルギー政策と経済協力（東アジアと地域経済2011）』』（会員著書紹介）『北東アジア地域研究』17号, 2011年11月
- 「富澤芳亜・久保亨・萩原充編著『近代中国を生きた日系企業』』『中国経済研究』9巻2号, 2012年9月
- 「三谷太一郎著『ウォールストリートと極東：政治における国際金融資本』』『歴史と経済』55巻1号, 2012年10月
- 「公益財団法人環日本海経済研究所（ERINA）編著『北東アジアの直面する課題と国際協力 北東アジア経済発展国際会議』』（会員著書紹介）『北東アジア地域研究』18号, 2012年10月
- 「富澤芳亜・久保亨・萩原充『近代中国的日資企業』（欧文東訳）『当代日本中国研究』4輯 歴史・社会, 日本人間文化研究機構現代中国区域研究項目編, 社会科学文献出版社, 2015年3月

F. 翻訳

- 解学詩「鞍山製鉄所の変遷」(1)『立命館経済学』37巻6号, 1989年2月
- 解学詩「鞍山製鉄所の変遷」(2)『立命館経済学』38巻1号, 1989年4月
- 夏徳仁『大連振興の軌跡』慈道裕治監修, 斎藤敏康・松野周治・曹瑞林訳, 中央公論新社, 2011年
- She Poon Kim「ASEANとGMS—発展格差は埋まるか?—」『メコン地域開発とASEAN共同体—域内格差の是正を目指して—』西口清勝・西澤信善編, 晃洋書房, 第17章, 2014年

G. 学会・研究会報告, 講演 (2000年以降)

- 「日本中小企業の中国展開の現状と課題」『中国暨遼寧・日本中小企業和私営経済21世紀合作与発展研討会』遼寧省社会主義学院, 中国・瀋陽, 2000年8月10日
- 「西部大開発における日本の役割」『中日中国西部大開発研討会』楊凌農業高新技術産業示範区管理委員会・西北農林科技大学・京都大学・立命館大学, 中国陝西省楊凌, 2001年9月11日
- “Development of Networks for Regional Cooperation in Northeast Asia: Cities, Ports, Institutions and Universities”, *International Conference on Regional Cooperation in Northeast Asia: Appraisals and Prospects*, 韓国・釜山, 2001年11月2日
- “Can We Develop New Economic Cooperation in NEA?: Recent Changes around North Korea and Meanings of Across Yalu River Development”, *Searching for the Basic Strategies for the Construction of the Northeast Asian Community: Tasks and Policy Directions Home and Abroad*, Northeast Intellectuals' Solidarity Korea (NAIS Korea), Korea Institute for International Economic Policy (KIEP), 韓国・ソウル, 2002年10月25日
- 「日中韓朝四国合作在東北亜区域合作中的意義及可能性」『東北亜区域経済社会合作与発展国際学術研討会』中国・瀋陽, 2004年9月20日

- 「東北アジア地域経済協力の意義と課題——中朝口国境地域から——」『環日本海学会』第11回学術研究大会，弘前大学，2005年10月2日
- 「日本と東北アジアの新たな関係の構築にむけて」『「新しい北東アジア」東京シンポジウム』環日本海経済研究所（ERINA），招待講演，東京，2006年3月24日
- 「国際交流を通じた地域文化観光資源の連結について：京都・舞鶴の経験から」『東亜地方治理交流研究会—文化，観光與政経』台湾大学社会科学院・台湾日本総合研究所「建構東北亜合作新体系專案弁公室」・立法委員李紀珠国会弁公室・彰化县政府，招待講演，台北・台湾大学，2006年8月14日
- 「国際産学公連携によるアジア高度人材育成」『日中平和友好条約締結30周年記念シンポジウム（国際アジア共同体学会第1回国内学術大会）』国際アジア共同体学会他，愛知大学，2008年11月1日
- 「世界経済再構築と東北アジア地域協力の意義」『2009年北東アジア地域自治体連合国際経済フォーラム』北東アジア地域自治体連合，招待講演，韓国・慶州，2009年5月20日
- 「世界経済再構築と東北アジア地域協力の意義」『第二届東北亜区域合作国際論壇』第二届東北亜区域合作国際論壇組織委員会・中国社会科学院・黒龍江省社会科学院，中国・哈爾濱，2009年6月15日
- “Inter-regional trade, intra-regional trade, and globalization based on regionalization”, *Asia Economic Community Forum*, Asia Economic Community Foundation, Incheon Metropolitan City, Incheon Free Economic Zone Authority, 韓国・仁川，2009年11月11日
- 「東北アジア地域協力の新段階構築のために—グローバル金融危機後の新国際経済秩序と地域経済協力の意義—」『第3回東北亜区域合作發展国際論壇』中国・哈爾濱，2010年6月15日
- 『「東アジア共同体」構築における東北アジア地域協力の意義と役割』『吉林大学・北京大学東北亜論壇（2010）東北亜区域合作與長吉図開発開放国際学術研討会』中国・長春，2010年7月20日
- 「地域課題からの出発と東北アジアの役割—日中韓主導権競争克服の道—」『中国社会科学フォーラム・国際学術シンポジウム 中日韓 FTA の創設：障害を越え，未来へ向かう』中国社会科学院，招待講演，中国・北京，2010年10月13日
- 「図們江開発の歴史的意義—東北アジアのグローバル化と地域化の中で—」『図們江学術論壇 2010』中国・延吉，2010年11月1日
- 「東アジアにおける国境国際地域経済圏形成の意義：図們江とメコン河」『関西大学経済・政治研究所平成22年度第6回公開セミナー』招待講演，関西大学千里キャンパス，2011年2月25日
- “International Cross Border Economic Regions in East Asia , Greater Tumen River Area (GTA) and Greater Mekong Sub-region (GMS)”, *Ritsumeikan and Xiamen University Joint Seminar “GMS Development; China and Japan”* 中国・厦門，2011年3月7日
- 「中朝経済関係の新展開をどう見るか」『中国東北地域の改革開放と経済・社会・思想の変容』西南学院大学共同研究育成制度支援共同研究ミニシンポジウム，招待講演，西南学院大学・コミュニティセンター，2011年3月30日，
- “International Cross Border Economic Cooperation among China, DPRK, and Russia facing

- to a New Phase of the World Economy; Policy Development of China and Regional Cooperation in East Asia”, *The North Korea Policy Forum: International Seminar*, The Plaza Hotel, 韓国・ソウル, 招待講演, 2011年4月12日
- “Unstable World Economy and International Cross Border Economic Cooperation in Northeast Asia”, *The Tumen River Academic Forum 2011*, Baishan Hotel, 中国・延吉, 2011年8月21日
- 「東アジア国境国際地域経済圏形成の現状と意義——図們江とメコン川地域——」『北東アジア学会』第17回学術研究大会, 札幌・北海商科大学, 2011年10月2日
- 「ロシア極東・中国東辺道調査概要—2011年度立命館大学研究推進プログラム（基盤研究）「東北アジアにおける『国境国際地域経済圏』の形成と『成長の共有』：中朝露国境地域を事例とする予備的研究」現地調査—」京都舞鶴港戦略研究会, 舞鶴・舞鶴市役所, 2012年7月3日
- 「国際分工の両種類型：区域内国際分工与区域間国際分工」《第六次全国馬克思主義経済学発展創新国際研討会》清華大学, 中国・北京, 招待講演, 2012年8月26日
- “Economic Cooperation in NEA under the Structural Changes of International Balances after the Global Financial Crisis”, *4th Northeast Asia Think Tank Forum*, Jilin Hotel, 中国・長春, 招待講演, 2013年9月7日
- “Standing at the crossroads: rethinking of economic cooperation in NEA after the Global Financial Crisis”, *Tumen River Forum 2013*, 延辺大学, 中国・延吉, 招待講演, 2013年10月22日
- “Intra-Regional Trade and Boarder Development in GMS”, *SDE Seminar*, NIDA, タイ・バンコク, 2013年12月23日
- 「東南アジアから見た東北アジア：東アジア国際河川広域開発協力比較, GMS（大メコン圏）とGTR（大図們江地域）」『NEASE-Net 第29回政策セミナー』大阪経済法科大学東京セミナーハウス, 東京, 2014年3月1日
- 「東アジア経済の歴史的発展と日中韓連携の意義」『日中経済ビジネス会議「転換期の中国経済と日中経済・ビジネス連携」』対外経済貿易大学, 中国・北京, 2014年3月18日
- 「東アジア地域内国際分業の深化と中小企業の役割：事例調査による試論」『北東アジア学会』第20回記念学術研究大会, 日本大学国際関係学部, 三島, 2014年9月21日
- 「21世紀の日中関係—新段階構築の可能性—」『日中関係は本当に最悪なのか—日中交流の現場からその真実を語る—』環日本海国際学術交流協会・北東アジア学会共催シンポジウム, 金沢, 招待講演, 2014年12月7日
- 「日中協力新段階構築の可能性」くらし学際研究所2015年1月例会, 神戸市勤労会館, 招待講演, 2015年1月21日
- 「中国の経済発展と東北アジアの越境：リージョナリズムとグローバリズム」『東北大学東北アジア研究センター・共同研究「東北アジアにおける辺境地域社会再編と共生態様に関する歴史的・現代的な研究」シンポジウム「越境の東北アジア：帝国統治の動揺と地域流動化」』東北大学東京分室, 招待講演, 2015年3月8日,

“Intra-Regional Trade and Boarder Development in GMS”, *Royal University of Phnom Penh (RUPP) and Japan Academy for Asian Market Economies (JAFAME) Joint International Symposium “Growth in East Asia”*, Royal University of Phnom Penh, カンボジア・プノンペン, 2015年3月26日

“Intra-Regional Trade and Border Development in GMS”, *Industrial Clusters in Asia as China+1 and Thailand+1*, 中小企業・経営研究所, 大阪経済大学, 招待講演, 2015年10月23日

H. その他

「年表・戦後南北問題の歩み」『南北問題入門』小野一郎・吉信肅編, 有斐閣, 1979年

「馬原先生の思い出」『立命館経済学』41巻5号(故馬原鉄男教授追悼号), 1992年12月

「小野先生の仕事と『雑談』」『経済論叢』159巻3号, 1997年3月

「日中共同研究の経過について」『立命館地域研究』7号(特集:瀋陽市工業立地条件に関する研究), 1998年10月

『小野一郎先生著作集』第一巻(近代日本幣制と東アジア銀貨圏), 松野周治・奥田宏司編集担当, ミネルヴァ書房, 2000年

「研究余滴 中国現代史研究会をふり返って」『現代中国研究』12号, 2003年3月

「シンポジウムのまとめ(特集 グローバル化の中の中国経済〔平成15年度中国現代史研究会シンポジウム〕)」『現代中国研究』13号, 2003年9月

「特集にあたって(特集:東北アジア地域経済協力の進展と前提条件)」『立命館国際地域研究』23号, 2005年3月

『北東アジア地域経済協力の発展と前提条件に関する研究』(平成15年度～平成17年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書)2006年3月

『中国東北振興戦略と日中間地域協力の新たな可能性—中国・国有企業改革と循環型社会経済の構築を中心に—』(平成17年度外務省「日中知的交流支援事業」報告書)立命館大学, 2006年3月

「互市貿易区」「中朝経済交流と国境貿易」『北東アジア事典 環日本海圏の政治・経済・社会・歴史・文化・環境』環日本海学会編, 国際書院, 2006年

『新たな地域連携のあり方と大学の役割Ⅸ—立命館大学と舞鶴市の連携に関する調査研究事業2006年度報告書—』立命館大学東北アジア地域研究センター, 松野周治・本田豊編, 2007年

『21世紀東アジアにおける新たな日中関係—現状と課題—』(平成21年度外務省「日中研究交流支援事業」報告書)立命館大学, 2010年2月

「編集後記」『北東アジア地域研究』第18号, 2012年10月

「特集『東アジアの中の日中関係:40年の発展, 現段階と今後』に寄せて」『社会システム研究』26号, 2013年3月

「編集後記」『北東アジア地域研究』第19号, 2013年6月

「特集『東アジアの中の日中関係:40年の発展, 現段階と今後』に寄せて」『社会システム研究』26号, 2013年3月

「対談 日本と中国・東北アジア」久保亨・松野周治, 『経済』第229号, 2014年10月